



定部一五部式線 廣五號十二休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地
印刷所 才道印刷局 電話 三〇七番

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 才道印刷局 電話 三〇七番

刊夕 日八月二十

常磐文藝

一夫生

▲滿腹
何等の思考も
研究も
野望も欲せぬ
女の顔も見たくない。
たゞあたゝかい
日の光を浴びて、
すね毛でも数べて
居眠りでもすれば
それで満足だ。
平和。
たゞ平和。
……一四、三三、……

防寒品澤山

揃ひました
年末年始に
足袋とマッス類を
平町二丁目商號丸屋
足袋仕立物ソリヤス類
齋藤商店

一冊の代金

御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
平町長橋町三五
川崎文庫
(市込大津規則書進呈)

西洋料理

腕まきのコックを
雇つてお客様方の
嗜好に添ふ様
充分勉強します
出前 平樂亭
敏速
五丁目吉山染物店向
電話(呼)五一六番

移轉廣告

内外科
皮膚科
入院應需
見習看護婦二名聘雇
希望者來談あれ

町新妻醫院
電話(呼)五六九番

御用意は?

◆毎朝霜が眞白に降る様になり誠に寒くなりました
◆お寒さの御用意として先づ暖で丈夫なラシヤ毛織類が一番です
◆なかやにはオーバ、トンビ、大小學生マント、東コト、モネリ、等所謂防寒具が最も安價に……最も豊富に……揃つて居ます、何卒御用命の程を。
なかや洋服店
平町二丁目
(電話二〇三番)

渡邊藥局

平町三丁目
渡邊政五郎
(郵便局向)

看護婦派出

の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

冬物特價大賣出し

流行 七五三、年末、年始の
御贈答に……

▲贈ふて床しいメリヤス
▲貰つて嬉しいメリヤス
お待兼のメリヤスの廉賣
寒さを凌ぐにはメリヤス……
各種 山家メリヤス店
平町一丁目

新設 電話二七〇番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
入院應需 自炊ノ便アリ

御披露

從來當地方ニ銃砲製造修理所ナク皆
様ハ多額ノ費用ト御不自由ト煩ハ
サレタ事ヲ遺憾ニ堪エマセンデシタ
ガ弊店ハ素ノ御高庇ニ酬ヒ度ク存
ジ萬難ヲ排シ横濱、東京各銃器工場
カラ腕ノ勝レタル技術者ヲ招ギ工場
獵銃製造工場
新設致シマシテ各般獵銃、空氣銃
ノ新調及修理ノ御要求ニ應ジ價格格
最モ低廉ニ日限確實、小修理等ハ御
待合ノ内ニ調製致シマスカラ何卒御
用命ノ程ヲ御願ヒ申上マヌ尙葉書カ
電話デオ問合セ次第御返事シマス

平町一丁目 城平社資合
内店藥火砲銃平社資合
所造製砲銃邊渡
番一四四話電

冬の特別大賣出し

△婚禮祝一式、七五三祝着一式
一、家庭絹天足袋二足……………七八
一、同 紐足袋二足……………五〇
一、ニコノ染新一反……………四五
一、木綿裏地一反……………四五
△外に特賣品澤山取揃へてあります
三井呉服店
電話 三八番

教育費國庫負擔

寄 書
政界通人
增加は當然
義務教育國庫負擔増加の問題は國民全体に關する重大問題であるから相當の議論が行はれ来る議會は恐らく貴族院改革問題に次ぐ重大問題として論議されるであらうと思ふ、曾つて濱口首相は義務教育費の國庫負擔額の増加は一種の減税であるとして主義に於て賛成であるが云ふ意見を吐いて居るが此の點より察しても藏相個人として居るものと思ふのであ

株式賣買中値

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇、〇	五三、五
平銀行	五〇、〇	六八、〇
磐越銀行	一一、五	一〇、五
磐城實業	五〇、〇	四二、〇
田村實業	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同 新	一五、〇	一九、〇
百七銀行	五〇、〇	五五、〇
同 新	一一、五	一六、〇
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇、〇	四三、五
同 新	二五、〇	一九、五
只見川電	一一、五	七、五
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、〇
磐城製菓	一一、五	一六、〇
平信託	五〇、〇	二五、〇
磐城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製氷	二五、〇	一八、〇
好問軌道	五〇、〇	三〇、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	一〇、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四二、〇
同 新	二二、五	一八、〇
磐城セメン	五〇、〇	六五、〇
同 新	三三、〇	四四、〇
平運送	一一、五	八、〇

丸登式株店

平町田町 電話三三二番
川添房二郎

る、然るに大藏當局として
は財政緊縮の今日數千萬の
金額を然も恒久的に歳出す
ると云ふ事は實に至難にし
て到底その要求を認むる事
は出来ない殊に剩餘金や將
來の歳入を目前にこれを要
求するは甚だ怪しからぬと
云つて居るが吾人は當局に
して國民教育に對してかゝ
る冷淡なる態度を持して居
る事は國民の輿論を無視す
るも甚しいと謂はねばなら
ぬ現在の義務教育費總額は
一億三千萬圓にしてその中
國庫負擔額は四千萬圓にす
ぎざれども更に二千萬圓を
増加するには國民教育の本
義より考へても極めて至當

南町の米穀商方に 二人組強盗押入る

女房を凌辱せんとして 果さず五十圓窃取逃走

六日午後十一時頃平町南町米穀商唐卯之吉方に主人不在中二人組の強盗押入り女房キクを凌辱せんとして果さず現金五十圓を窃取逃走したと書けば一

大事件

平署の捕賊演習想定であるが、右に基き同署にては同夜午後十一時半管内巡查を全部非常召集し午前一時半頃にはクモの集の如き非常線を張つて各巡查が模範犯人逮捕に努力中盗賊に粉した消防手笹目八郎君は午前

遭難漁夫に 弔慰金集る

町會の決議

過般石城郡四倉町若松磯吉所有福神丸が激浪の爲め顛覆し十四名の乗組員が遂に海の藻屑となつた事は既記の如くであるが四倉にては

急告

本社専属印刷工場警陽社が業務を擴張する爲め男女共に活版印刷見習工数名募集します

増子刑

田巡查逮捕無事に演習を終り伊藤署長の講評あつて演武場に慰勞の宴を張つたと

優良組合表

水野郡長から
石城郡産業組合長會議は既記の如く本日午前十時から

常磐片々

平電氣事件大山鳴動鼠一匹と云ふも猫を噛まぬ内に叩き締めた處が司法権の有難

平窪村米品評

石城郡平窪村農事實行組合主催第一回米品評會は来る十四日同村小學校に於て開催する筈

各炭礦協力し 統一的の除水作業

採炭能率の増進を期し 經營者側が具体案研究

石城郡の炭礦界は瓦斯爆發から出水など忌むべき變災相亞ぎ經營者を脅かして居るが今回内郷村警城炭礦坑の出水と共に町田抗や好間村の古河炭礦も同時に減水したと云ふので水路は各方面に連絡してゐるものと思はれるので各炭礦は今後共力して統一的の排水作業を施さば採炭能率の増進を期し得べしとの方針に研究調査の必要あり經營者側で考慮されてゐるから近き將來に於て具体化するべく觀測されてゐる

養蠶家失望

農會の失策

桑苗高く
平電氣不正事件に關しては既記の如く一昨日午後六時白井裁判長から左記の如き罰金を言渡された



胃病の療法 (上)

胃病原因にも種々ありますから、まづその原因を除かねばなりません。たとへば胃病原因にも種々ありますから、まづその原因を除かねばなりません。たとへば胃病原因にも種々ありますから、まづその原因を除かねばなりません。たとへば

片濱海岸の 軌道實現難

収支償はず

石城郡江名町より豊間、高久、飯野村を経て平町に通ずる片濱海岸軌道計劃は平町石坂詮太郎、高久村大谷喜作氏等の共願になり居るも同軌道九哩の工費は三十五萬圓に達するので昨今の如き各方面に緊縮整理を叫ばれて居る折柄容易に投資する者もなく加ふるに沿線には之れとて利用すべき物資の集散なく只江名濱に於ける漁獲物の輸送なるも海之又道軌道と二分される關係にあるので到底収支償ふ

受信を擴張 漁業奨励に

本縣では曩に沿岸に於ける漁業奨励保護の目的で警城丸で無電により漁況を各濱に速報する爲めこれを受信すべく小名濱町縣立水産試験場内に無線電信受信機を新設したが其結果は頗る良好なるも一層其効用を全からしむため同所と各濱漁業組合事務所とに於て通話し得らるる専用の電話を架設す必要あるが故に濱通り關係各議員の賛成を得

斜坑を開掘

近く着手する

石城郡好間村古河炭礦は其後發給策を講じ坂本修作氏礦務所長に新任と共に着々復活の計劃を立て堅坑附近に三箇所の斜坑を開鑿に決定し近く着手することゝな

不平受付

郵便配達に關しては貴紙の記事に依つて判明しましたが配達道順は今日右廻り明日左廻りと云ふ工合に隔日に變へる事が出来ま

募集

文藝其他投稿を募集します

平町人事

出生

△堤の内十二 當時石城郡窪田村 深谷榮三郎氏二女スエ
△月見町十三 國井源喜知氏長女 清子

婚嫁

△大分 下平郡小楠村 植野浩氏 (三〇) 四丁十八 綠川ヨシ子

死亡

△研町五 當時千葉縣市川町只野 正男(二〇)

佛教た伽話會

平町 聚樂館にて今明兩日午後一時から高木敬辯氏の佛教お伽噺會を開くと